

# えどがわ伝統工芸産学公プロジェクト



つりしのぶ 深野 晃正 Terumasa Fukano

「つりしのぶ」は、竹の棒などにコケを巻き付け、シノブ(シダ植物)の根を這わせた観賞用の樹木です。軒下などに吊るして涼をとるために用いる「日本の夏の風物詩」として、古くから親しまれてきました。軒下が少なくなった現代でも、わずかな場所を利用して夏の風情が味わえる癒しのインテリアとして、都会から遠ざかってしまった緑を楽しませてくれます。深野氏は、これまでの形に捉われない独創的な作品を手掛ける都内で唯一のつりしのぶ職人です。

## 2018 年度 新作紹介

( 価格記載作品は「[えどコレ!](#)」にて順次販売予定。掲載価格は 2019 年 1 月現在の税込価格です。)

星



つりしのぶ 8,640 円  
デザイン：女子美術大学 談 文

勾玉



つりしのぶ 5,400 円  
デザイン：女子美術大学 陳 滢

灯



つりしのぶ 5,400 円  
デザイン：女子美術大学 溝井 優香

輪



つりしのぶ 16,200 円  
デザイン：女子美術大学 山本 彩生